

西六い子、（註）労働運動家。岡山縣生乳、昭和四年歿（一九一五）。上  
京して苦學。山川均の水曜會に参加し、大正九年日本社會主義同盟の  
翌年赤瀾會に参加した。この雑誌「社會主義研究」、更なる「マルクス  
主義」等の編輯を助勢。また争議の應援、救済活動に盡力。この間、（かえ）  
西雅雄と結婚し、（三・一五事件）（昭和二年共產黨員一斉検挙）で夫の  
入獄中、腦溢血で死去。舊姓貞原。